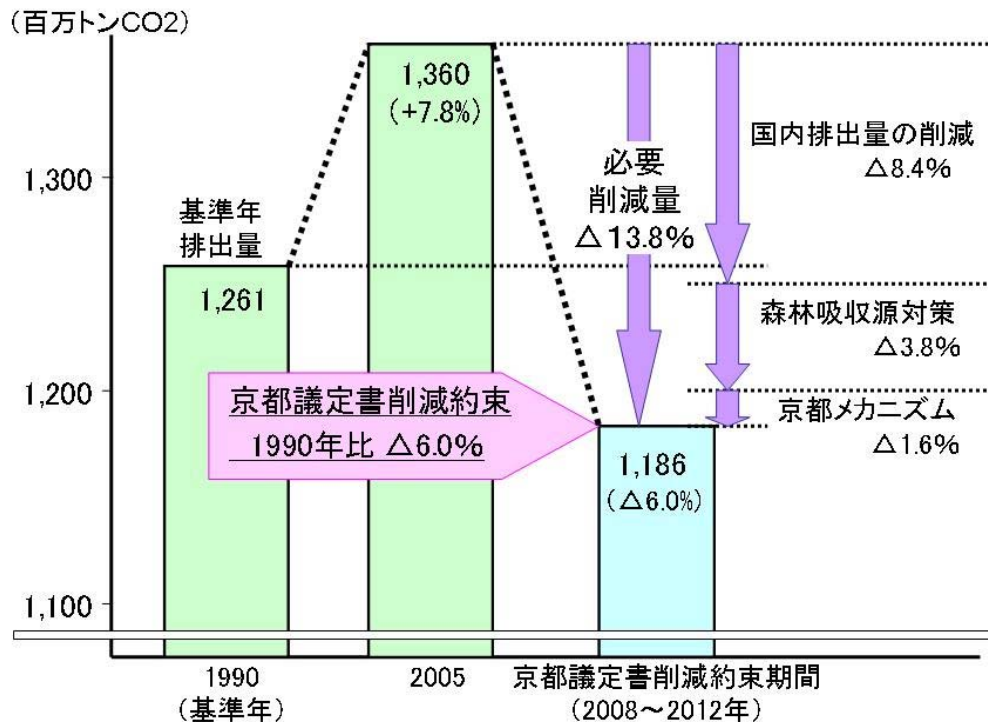


農林水産分野における温室効果ガス排出削減見込量について

区 分		削減見込量	備 考
国内排出量の削減	施設園芸・農業機械の温室効果ガス排出削減対策（新たな削減目標値を設定）	約 1 7 万 4 千 C O 2 トン	2005 年度→ 2010 年度の年間排出量の削減量
	環境保全型農業の推進による施肥量の適正化・低減（新たな削減目標値を設定）	約 1 8 万 1 千 C O 2 トン	2005 年度→ 2010 年度の年間排出量の削減量
	漁船の省エネルギー対策（新たな削減目標値を設定）	約 4 万 7 千 C O 2 トン	2005 年度→ 2010 年度の年間排出量の削減量
	バイオマスの利活用の推進（バイオマスタウンの構築）	約 1 0 0 万 C O 2 トン	2002 年度→ 2010 年度の年間排出量の削減量
	新エネルギー対策の推進のうち国産バイオ燃料の生産	約 7 万 9 千 C O 2 トン	2002 年度→ 2011 年度の年間排出量の削減量
	農林水産省の率優先的取組（事務・事業における排出削減）	約 1 万 4 千 C O 2 トン	2001 年度→ 2010 ～ 2012 年度の年平均削減量
	計	約 1 4 9 万 5 千 C O 2 トン	6 %削減約束のうち 0 . 1 2 %に相当
森林吸収源対策		約 4 , 7 6 7 万 C O 2 トン	2008 ～ 2012 年度の吸収量の年平均（6 %削減約束のうち 3 . 8 %に相当）

（注）バイオマス発電（廃棄物発電と合わせて約 1 , 2 9 2 万 C O 2 トン）、食品産業の環境自主行動計画（主要産業で約 4 , 2 4 0 万 C O 2 トン）及び省エネルギー法によるエネルギー管理の徹底（産業、民生業務部門で約 4 7 0 万 C O 2 トン）に係る削減見込量については、農林水産分野のみを切り分けて推計することが困難であるため、計上していない。

我が国の温室効果ガス排出量の推移と見通し



温室効果ガスの排出状況について (単位：百万CO₂トン)

	基準年		基準年→2005年度		2005年度実績	
		割合	の増減	基準年比		割合
エネルギー起源CO ₂	1,059	84%	+ 144	+ 13.6%	1,203	88%
産業部門	482	38%	- 26	- 5.5%	456	34%
業務その他部門	164	13%	+ 74	+ 44.6%	238	18%
家庭部門	127	10%	+ 47	+ 36.7%	174	13%
運輸部門	217	17%	+ 40	+ 18.1%	257	19%
エネルギー転換部門	67.9	5%	+ 10.6	+ 15.7%	78.5	6%
非エネルギー起源CO ₂	85.1	7%	+ 5.5	+ 6.6 %	90.6	7%
メタン	33.4	3%	- 9.3	- 27.9%	24.1	2%
一酸化二窒素	32.6	3%	- 7.2	- 22.0%	25.4	2%
代替フロン等3ガス	51.2	4%	- 34.3	- 66.9%	16.9	1%
国内排出量合計	1,261	100%	+ 99	+ 7.8%	1,360	100%